

よく似合う短歌は

想

いを相手に伝える手段として、貴族を中心に広く嗜まれている短歌。意中の人の思いをかつこよく（これが大事！）伝えるのはもちろん、大切な人や街から離れる時に惜別の気持ちを短歌に残すこともありました。奇しくも今は三月、卒業シーズン。卒業でなくとも、クラス替えや人事異動など、年度末はまさに「別れ」の季節です。大切な人たちと離れ離れになるその寂しさは、5・7・5・7・7の形に整えたらきつと輝くはず。ぜひトライしてほしい気持ちを込めて、今回は「別れ」のシーンを詠んだ名作短歌をご紹介します。

ま

ずは、古い時代の作品から。交換日記のように短歌で想いを伝えあっていた平安時代、古今和歌集の撰者でもあった凡河内躬恒の作品です。

別れれどうれしくもあるか今宵よりあひ見ぬ先に何を恋ひまし
(凡河内躬恒)

※『古今和歌集・巻八』収録歌

古文なので分かりにくいのですが、意訳すると『今日はお別れですが、嬉しくもあります。だって今日あな

『〇〇飛驒万葉』プロジェクト 今後の活動のご案内

※〇〇には次の元号が入ります

当プロジェクトは第3回飛驒高山文化芸術祭『こだま〜れ 2019』の企画のひとつとして、このフリーペーパーの発行にとどまらず、朗読、展示、ワークショップ、作品集づくりなど、「言葉を形にする」をテーマにした様々な活動・イベントを予定しています。



飛驒高山文化芸術祭
こだま〜れ
2019

朗読を聞く

定番の怪談から飛驒に伝わる怪談まで。怖いけど楽しい朗読イベントです。

体験する

文学作品を実際に作ってみるワークショップやトークショーも開催します。

形にする

市民の皆さんから集めた言葉で作品集をつくる予定です。

詳細は決まり次第、この紙面にてお知らせいたします！
ご期待ください。

たに会えたことで、今夜から恋しいと思える人ができたのだから。』という感じ。なんてキザな（笑）でも、別れをこんな風に前向きに捉えて想いを伝えるあたり、さすが三十六歌仙に数えられる天才歌人ですね。

きみとの恋終わるプールに泳ぎおり十メートル地点で悲しみがくる
(小島なお)

※歌集『サリシヤは死んでしまった』収録歌

清々しい青春を感じる名歌ですね。本当の別れのシーンというよりは別れのシーンを比喻に使っているのですが、音楽用語「フォルテ」に込め

られる気持ちの強さと躍動感が、お別れのシーンを借りて見事に言い表されていますね。

を言葉で鮮やかに言い表した作品は、読んだ人の心にすんなりと入ってきて強い共感を生む名作となることが多いように思います。

裏面では「卒業」をテーマにした読者投稿の作品をご紹介します。ぜひチェックしてみてください。

読者投稿
「卒業」の短歌

今月のテーマ

賞状を丸めて伸ばす意味もなくあの時以来会ってない友

(酒井井戸)

おめでとうありがたうの飛び交うなかでしずかに役目を終える制服

(知己凛)

悲しみの青だけ揮発したらしい卒業写真がセピアに残る

(須磨堂)

一億人以上がみんな一斉に卒業をする、さらば平成。

(石川ノラネコ)

3年間好きだったよと打ち明けてこの恋からも卒業しよう

(杉沢)

春の日に「蛍の光」は波となりうずまき管を正しく進む

(たかはしりおこ)

渡辺の名前が呼ばれるまでずっと隣の青木は涙をこらえて

(平刃六)

全員でゴールテープを切ればまた全員分のスタートライン

(まるち)

雪だけの泥跳ねちゃった上靴も今日で捨てるし洗わずにきた

(鳩麦)

制服を脱ぐこと君をなくすこと同窓会にはたぶん行かない

(ことり)

三年の間に縦に伸びた子とスーツがきつくなった私と

(小田たくみ)

卒業と書かれたゲートをくぐるとき密輸しましたこともごころを

(くろだたけし)

放課後に残る理由を僕たちに与えてくれた三月の雨

(とみた律)

校庭のまんなか時計として立つぼくの最後の時間を使って

(ともえ夕夏)

落ちてくる桜の花びら掴めたら僕を卒業しなくていいよ

(こいけみふゆ)

またねって何度も交わしてきたけれど今日はもうさよならなんだね

(若紫音佳)



短歌募集中!

『ごな』では投稿コーナーに掲載する短歌を募集しています! 投稿数に限りはありません。毎回のテーマに合った短歌作品をぜひご投稿ください。

次号のテーマ

『友』

投稿締切

4/21

郵送・ファックス・メールは、名前(ペンネーム可)・住所・電話番号・作品を書いてご投稿ください。実行委員会が選んだものをフリーペーパーに掲載します。

郵送 0506-0009

高山市花岡町 2-18

生涯学習課 宛

FAX 0577-35-3414

Mail hidatakayama.kodamale@gmail.com

URL https://mailform.mface.jp/frms/kodamale2019/aerfw oen465v

Twitter @hidamanyou

ハッシュタグ「#ごなフリベ」をつけて作品をツイートしてください。

田中ましろの
短歌と写真

一度だけ握手をしよう
もう一度と会えないことに気付かぬように



Mashiro Tanaka

MODEL: 美優香 @I_am_Miyuka

3月17日(日) イベント盛りだくさんの
高山市民文化会館へ!

『こだま〜れ 2019』のイベント「こだまっていこう!!」が、3月17日、高山市民文化会館にて開催されます。午後から夕方まで、気軽に芸術に触れていただけるイベント。下記の詳細をお確かめの上、ぜひお越しください!

1 天才による短歌教室
in 高山

講師 14時~16時
木下龍也さん @2-5 会議室

短歌を作るとき発想法をわかりやすく学べる無料のワークショップ。住所・氏名・連絡先を添えて、事務局までお申し込みの上、筆記具持参でお越しください。申し込みは3月5日締切です。中学生以上が対象、定員50名様。(定員を超えた場合は抽選)

お申込先 Tel: 0577-35-3155 / Fax: 0577-35-3414
Email: shougaigakushuu@city.takayama.lg.jp

2 こだま〜れコンサート 14時~15時半 @3-11 講堂

大和裕二さん・津川きよしさん・小沢涼子さんら有名タレントそっくりさんによるコンサート。申込不要です。

3 ひなまつりモビールをつくろう!

講師 15時半~17時
松見ひろ子さん @3-11 講堂

ダンボールアートに挑戦!

講師 15時半~17時
布施武さん @3-11 講堂

バルーンアートを
楽しもう!

講師 15時半~17時
石原奈々恵さん @3-11 講堂

体験イベントはどれも申込不要ですが、ひなまつりモビールのみ先着50名様の受付とさせていただきます。

編集人について

田中ましろ @tnkmsr

1980年生まれ。大阪府在住。歌人・写真家・コピーライター。

2010年より短歌×写真のフリーペーパー『うたらば』を企画・制作。短歌を広める活動に力を入れている。『うたらば』は日本タウン誌・フリーペーパー大賞2018にてコミュニティ・ライフスタイル部門最優秀賞を受賞。歌集『かたすみさがし』(書肆侃侃房)。写真と短歌による作品を定期的に発表中。

編集後記

vol.2は3月らしく、「別れ」や「卒業」をテーマにしてみました。心が動く瞬間は短歌にとってはとてもおいしい瞬間。短歌にすると気持ちが保存されるんです。卒業式などで心が動くことがあればぜひ、気持ちを短歌にしていってもらえたら僕は嬉しいです。

